

**＝ 病院の理念 ＝**  
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

# 東葛の健康

№ 473 2024年 1月号  
 [毎月5日発行] [定価1部20円]  
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上均  
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1  
 TEL 04 (7159) 1011(代)  
 FAX 04 (7158) 9202  
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

# 地域医療をまもる

2024  
 新年号



井上均院長

「東葛の健康」読者の皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。新年号は井上均院長、萩原正臣事務長、高橋法子副看護部長、東葛健康友の会江口正博会長が2024年の抱負をお話いたします。(編集部)

あけましておめでとうございます。旧年中は皆様のご理解とご協力をいただき本当に感謝申し上げます。コロナ感染が昨年5月に2類から5類に変更になり、私たちの社会生活は以前の状態に戻りつつあります。しかし、感染がなくなっただけではなく、重症化したりお亡くなりになる方もいらっしやる

ため、病院としては引き続き十分な対策が必要で、引き続き、ご協力をよろしくお願ひします。私たちは、地域の方々に寄り添う医療・介護を目指しています。私たちのできる範囲にはなりますが、何とか地域の方々の要望におこたえしたく、日夜問わず精一杯頑張っています。

今世界情勢が緊迫する中、国内の経済状況の悪化、物価不足等があり、物価高も進んでいます。国民の生活はますます厳しくなっています。政府は賃上げを企業に要請していますが、それができるのはおそらく大企業や一部の中小企業だけで、大半の中小企業は賃上げどころか、会社そのものを維持していくこともままならないのではないかと思います。

病院も同様です。本当に苦しい状況が続いています。しかし、何とか地域の方々、職員のためにも病院を維持していく必要があります。職員一人一人が頑張っています。この大変な状況は社会が変わらないうと、好転することはないと思います。引き続き皆さんと力を合わせ、国民が安心して生活できる社会、地域を

目指していきましよう。昨年は4年ぶりの健康祭りが開催できて本当に良かったと思えます。地域の皆さんと、血の通った暖かい交流が本当に必要なと感じました。今年は、さらに皆さんとの交流を深め、力をあわせてこの難局を乗り越えていこうと思えます。引き続きよろしくお願ひします。

生しました。発熱外来にも多くの患者さんが来院され、通常に戻る病院外の生活と病院内の状況のギャップに非常に戸惑った1年でした。全国の医療機関の7割以上が赤字であると報道されています。電気・ガス料金、食料料費等の急激な上昇が要因としてありますが、物価高騰を価格転嫁できない医療機関は、非常に厳しい経営状況に立たされています。今春、2年に1度の診療報酬改定が行われますが、こうしたコスト増を賄える規模のプラス改定にはなりそうもありません。また、診療所は儲けているからという理由で、大きく収入を下げる議論も行われており、現場の実態を顧みない論調に憤りを感じます。

コロナ禍ではやむを得ず救急車をお断りせざるを得ない状況もあり、地域の皆さまにはご迷惑をおかけしてしまいました。通常医療にシフトしていく今年も、地域の皆さまの要求にしっかりと応えべく、職員一同奮闘してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

東葛病院では、現在約310名の看護師が日々看護を行なっています。2023年度は23名の新人看護師を受け入れ、あっといいう間に1年が過ぎようとしています。地域の方々から信頼される看護師育成を目指し、理念を軸とした研修プログラムを各年代に合わせて計画し実施しています。また、外部研修への支援や学会発表などを行ないながら知識や技術を深め、患者さんへの看護に活かせるよう取り組んでいます。

そしてこれからは、今まで以上に多職種との連携が大きな力になります。病院内だけではなく、地域と一緒に患者さんを見守る視点が必要になり視野を広くもった看護師が「要」となります。多職種で協働し職員同士の横の繋がりを大切にしながら、患者さんの立場に寄り添った看護師の育成を進めていきたいと思えます。

**『聞こえ』の学習会**  
 補聴器の仕組み・選び方・効果  
 講師：岡田英敬氏 認定補聴器技能者  
 1/14(日)13:00~14:30 定員100名  
 会場：おおたかの森センターホール (おおたかの森小中学校併設)  
 参加費：無料  
 どなたでも参加できます  
 主催：社会保障推進流山市協議会  
 連絡先 04-7128-7259 事務局 生駒敦史

あけましておめでとうございます。昨年は、5月の5類移行、10月からの公的補助の基本的廃止と行政の対応もコロナ禍前の状態に戻されましたが、病院の外と内では大きく状況は異なり、第9波と言っても過言ではない夏の感染拡大では、当院でも多くの病棟でクラスターが発



萩原正臣事務長

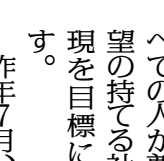
コロナ禍ではやむを得ず救急車をお断りせざるを得ない状況もあり、地域の皆さまにはご迷惑をおかけしてしまいました。通常医療にシフトしていく今年も、地域の皆さまの要求にしっかりと応えべく、職員一同奮闘してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

あけましておめでとうございます。昨年は、5月の5類移行、10月からの公的補助の基本的廃止と行政の対応もコロナ禍前の状態に戻されましたが、病院の外と内では大きく状況は異なり、第9波と言っても過言ではない夏の感染拡大では、当院でも多くの病棟でクラスターが発

コロナ禍で研修の機会も減っていました。2024年度は今まで以上に学ぶ場を増やしていきたいと考えています。研修を受けたからといってすぐに結果は出ませんが、日々の看護の中で点と点が繋がる実感を持ちながらみんなが成長していける

私たちは「平和で医療・福祉が充実し、すべての人が尊重され希望の持てる社会」の実現を目標にしています。昨年7月、この目標に照らすと、ドイツやフランスの社会保障などの到達点は、生きた一例でもあり、日本国憲法を生かした国づくりに進めていくと到達点ではないは通過する水準ではないか、との考えを表明しました。年頭に当たって改めてその内容を確認したいと思

今年も目標をしっかりと定めて会員の皆さん、東葛病院の皆さんとともに地域に根を張り、友の会の輪を広げていく決意です。今年もよろしくお願ひいたします。



東葛健康友の会 江口正博会長

（国内総生産）比で日本の1.2倍から1.3倍。医療費の窓口負担は原則無料が少額の定期制。年金の受給資格期間が日本の25年に対し、0.5年で、最低保障年金もある。教育関係でも、日本の大学の学費が53万にに対し、無料が廉価。奨学金は給付型中心。（日本は貸与型中心で総額は10兆円にも）。食料自給率は日本の2.2倍3.3倍。GDPはドイツがほぼ日本と同じ。フランスは日本の66%水準。どうすればここに近づけるのか。やはり、主権者国民が「憲法を生かした社会、国づくりを」の声を広げることではないでしょうか。今年も目標をしっかりと定めて会員の皆さん、東葛病院の皆さんとともに地域に根を張り、友の会の輪を広げていく決意です。今年もよろしくお願ひいたします。

**聴診器**  
 あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類となった後に初めて迎えるお正月、皆さまはどのようにお過ごしでしょうか。穏やかに過ごせるお正月がどれほど大事だったか、今年にはあらためて実感しているところである。▼厳かに過ぎ去る年の瀬を懐ひやかな街の中で、ふと社会と世界の間でどこかで起きる大きな出来事に想いを寄せると、どうしても頭から離れない事はパルスチナ レスチナ ガザ地区で破壊された病院だった。り、ロシアのウクライナだっ